

母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）学会

2023 年度研究大会オンライン開催のご案内及び発表募集のお知らせ

2023 年 7 月 1 日更新

母語・継承語・バイリンガル教育（MHB）学会は、国内外の複数言語環境にある幼児・児童・生徒・およびその他の学習者がマルチリンガル能力を身につけられる言語教育の方法、理論、研究方法をさぐることを目的として、多様な領域の研究者・教育実践者が交流し、情報交換や発信などの活動をおこなっています。

2023 年度の研究大会は「公正な言語教育を求めてーバイリンガルろう教育を再考する」をテーマにかかげ、8 月 3 日～6 日にオンラインで開催します。

MHB の研究領域である海外継承日本語、ろう・難聴児、国内 CLD 児、少数言語を含む各種言語教育の場において、学習者に対する情報保障や言語権、教育を受ける権利は必ずしも保障されてはいません。なぜなら、すべての学習者に機会を「平等 Equality」に提供したとしても、それは結果の平等「公正 Equity」を保障するものではないからです。今年度の MHB 大会は「公正な言語教育」をテーマに、ろう教育におけるバイリンガリズムについて皆様とご一緒に考えていきたいと願っています。

大会テーマの基調講演には、ろう児の教育がご専門の Ruth Swanwick 博士（リーズ大学）、Daniel Fobi 博士、Richard Doku 氏の三人をお迎えし、「バイ／マルチリンガル小児期ろう教育：コンテキストを超えた対話 Bi/Multilingual early childhood deaf education: cross-context conversation」をテーマにご講演いただきます。また、森壮也氏（アジア経済研究所）による「ろう者のセルフ・アドボカシー：手話にまつわる人生の諸戦略」と題した特別講演も企画しています。この特別講演は一般に広く公開（大会参加費不要）します。その他にもパネル、2つのワークショップ、会員による研究発表、特別ラウンドテーブルを予定しています。詳細は、大会概要をご覧ください。

MHB は世界の各地に会員を有しているので、できるだけ多くの方に参加していただけるよう工夫をする予定です。また、情報保障についてもできる限りの努力をします。一般参加の申し込み方法は、後日ご案内します。みなさまの積極的なご参加をお待ちしています。

MHB 学会 2023 年度大会実行委員会

【大会概要】

開催期間：2023年8月3日（木）～8月6日（日）

開催形態：完全オンライン開催

テーマ：公正な言語教育を求めてーバイリンガルろう教育を再考する

【プログラム】

8月3日（木）

15:00-18:00 ワークショップ I [録画事前共有、日本語字幕]

講師：柴山 真琴 氏（大妻女子大学）

内容：「エスノグラフィー入門：日常の言語実践の研究法として」

8月4日（金）

16:00-18:30 基調講演

[録画事前共有（日本語字幕付き）+ライブセッション（日本語への同時通訳、日本手話付き）]

登壇者：Ruth Swanwick 博士（リーズ大学）、Daniel Fobi 博士、Richard Doku 氏

タイトル：「バイ/マルチリンガル小児期ろう教育：コンテキストを超えた対

話 Bi/Multilingual early childhood deaf education: cross-context conversation」

8月5日（土）

8:30-10:30 パネルセッション [日本手話通訳]

テーマ：「言語とアイデンティティ」

登壇者：

(1) 北原 モコットウナシ 氏（北海道大学）

(2) 富田 望 氏（ハーバード大学）

(3) オーリ・リチャ 氏（千葉大学）

10:30 学会より紀要特別号発刊のお知らせ

11:00 総会 [日本手話通訳]

13:00-14:30 特別講演

登壇者：森 壮也 氏（日本貿易振興機構アジア経済研究所）

タイトル：「ろう者のセルフ・アドボカシー：手話にまつわる人生の諸戦略」

15:00-17:00 会員による研究発表

16:00-17:00 特別ラウンドテーブル「ろうの若者、ろう教育を語る」〔日本手話通訳あり〕

8月6日（日）

13:00-15:30 会員による研究発表〔1部屋に日本手話通訳あり〕

16:00-18:00 ワークショップⅡ

講師：加納 なおみ 氏（國學院大学）

内容：「複数言語生活を生かした言語教授法—リテラシーを育むための実践講座—」

【参加申し込み方法】

参加申し込みには Wix を利用しています。大会の参加登録に合わせて Wix のユーザー登録が必要です。参加申し込みは大会特設サイトからおこなっていただきますが、詳細は後日、連絡します。

※MHB 学会員でない方のご参加も歓迎しますが、MHB2023 本大会に正会員（一般会員・学生会員）価格での参加を希望される方は、先に 2023 年度の MHB 学会年会費の支払いをお済ませください。新たに入会を希望される方は「入会案内」<https://mhb.jp/admission>からお申し込みください。MiiT+というクラウドサービスにまず登録していただき、その後そこでクレジットカードにて年会費の支払いをすることができます。

※現在、準会員の方で、一般会員に資格を変更されたい方も MiiT+ から同様に会費納入をしてください。

※MHB 学会員の年会費と大会参加費は支払い方法が異なりますので、ご注意ください。

※オンラインでの大会実施が順調におこなえるよう、大会実行委員側はできる努力をいたします。しかし、ネット接続の不具合等によるトラブルがないことを保証するものではないことをご了承ください。

※定員に達ししだい、締めきらせていただきます。

【参加申し込みと金額】

- ・参加申し込み期間：7月ごろになる予定です。
- ・すべて事前登録が必要で、当日参加はできません。
- ・料金は次のとおりです。ただし【特別講演】は無料で、大会参加申し込みは不要です。
- ・ワークショップは追加料金不要です。

大会参加費 正会員（一般会員・学生会員）3000 円
準会員・非会員 4,000 円

※ MHB 学会発行の領収書および参加証明書が必要な方は、MHB 学会 2023 年度大会実行委員までお問い合わせください。

※ お支払いの取り消しは、理由の如何に関わらず一切お受け致しかねますので、ご了承ください。

【研究発表応募要領】

1. 募集内容

・ MHB 学会の研究領域に関連するもので、未発表のもの。今年度の研究テーマに限るものではありません。

※MHB 学会の目的や対象領域は学会会則 <https://mhb.jp/kaisoku> を参照のこと。

2. 発表言語

・ 日本語、英語、日本手話（ただし、例示のため、他言語の単語などを含めることは可能）

3. 締切

・ 2023 年 5 月 31 日（水）23:00（東京時間: UTC+9）必着 **発表応募締め切りました。**

・ 応募は本学会員（一般会員と学生会員）に限ります（※2023 年度年会費納付済みのこと）。筆頭発表者だけでなく共同発表者も全員学会員である必要があります。学会員登録の方法や年会費納付先については <https://mhb.jp/admission> の説明をご参照ください。

・ 筆頭発表者だけでなく、共同発表者の方も全員大会への参加申し込みをしてください。

・ 1 人の学会員が 2 件以上の発表で筆頭発表者となることはできません。

・ 口頭発表の時間帯を選ぶことはできません。

4. 発表カテゴリー

(1) 口頭発表（研究発表・実践報告）

(2) ショートプレゼンテーション（研究発表・実践報告・デモンストレーション）

5. 発表形式と時間

(1) 形式

■口頭発表：まとまった研究や実践報告についてまとまった内容の情報の提供が中心です。はじめの18分は、発表者がZOOM meetingを使用し参加者にむけて一方向に発表します。その後10分間の質疑応答があります。

■ショートプレゼンテーション：萌芽的研究や実践報告あるいは教材等について、やり取りの中で議論を深めることを目的としています（データ収集以前の企画段階での発表はご遠慮ください）。はじめの8分程度で、発表者がZOOM meetingを使用し参加者にむけて一方向で発表した後、20分間の意見交換を行います。

(2) 持ち時間

口頭発表：発表18分+質疑応答10分、計28分

ショートプレゼンテーション：発表8分+質疑応答20分、計28分

6. 応募の手続き

・ 次の3件の文書をダウンロードしてください（インターネットに接続した状態でクリックをすると当該の文書にアクセスできます）。

(1) [2023MHB_AppForm](#)

(2) [2023MHB_guide](#)

(3) [2023MHB_template](#)

・ (1)に必要事項を記入し、(2)の指示に従い、(3)を使用して応募原稿を作成し、(1)(3)を指定された方法で送付してください。

7. 採否判定の観点

■口頭発表：

- (1) テーマが MHB 学会にふさわしいか。
- (2) 研究・実践課題が母語・継承語・バイリンガル教育の実践と研究に貢献するか。
- (3) 研究発表の場合には、研究動機、先行研究のまとめと研究の位置づけが、実践報告の場合には、その実践の意義が、それぞれ研究課題、研究方法とともに明記されていて、結果と考察が含まれているか。
- (4) 先行研究等と比較して、発表内容に特色、独創性、意義が認められるか。

■ショートプレゼンテーション：

- (1) テーマが MHB 学会にふさわしいか。
- (2) これまでの研究・実践・教材等と比較して、研究内容に特色、独創性、意義が認められるか。

8. 採否連絡

- ・採否の結果は、6月19日（月）までにメールにて通知致します。

お問い合わせ：MHB 学会 2023 年度大会実行委員 taikai@mhb.jp